

製品名: SERPINA7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81268**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	46.3kDa

抗原情報

遺伝子名	SERPINA7
別名	TBG
遺伝子 ID	6906.0
SwissProt ID	P05543
免疫原	大腸菌で発現したヒト SERPINA7 (AA: 168-302) の精製された組み換え断片。

背景

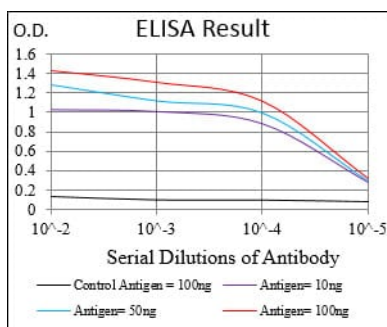
血流中で甲状腺ホルモンであるチロキシン (T4) と 3,5,3'-トリヨードチロニン (T3) を輸送する役割を担うタンパク質は、チロキシン結合グロブリン (TBG)、トランスサイレチン、アルブミンの3つです。この遺伝子は、血清中の主要な甲状腺ホルモン輸送タン

パク質であるTBGをコードしています。このタンパク質はゲノミクス上はセルピンファミリーに属しますが、他の多くのセルピンファミリーメンバーのように阻害機能はありません。この遺伝子の変異はTBG欠損症を引き起こし、血清中のTBG濃度に基づいて、部分欠損、完全欠損、過剰の3つに分類されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっていますが、これらのバリエーションの全長は未だ解明されていません。

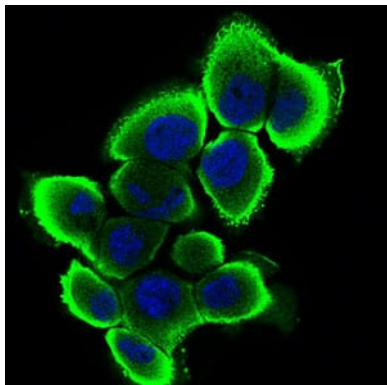
研究分野

-

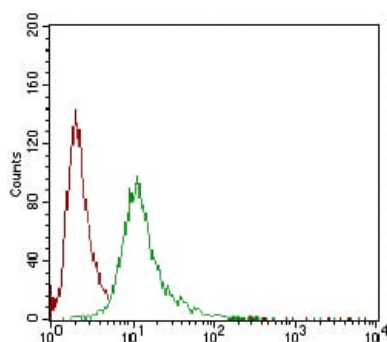
画像データ



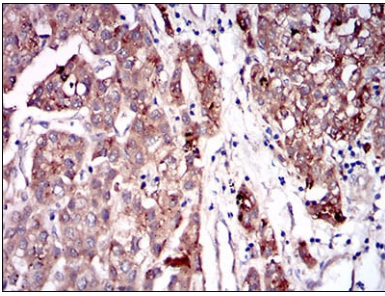
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



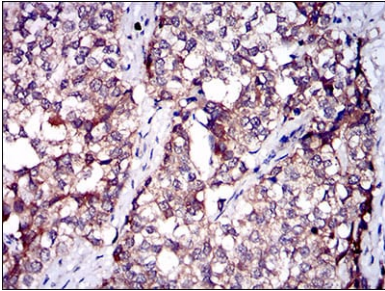
SERPINA7 マウス mAb (緑) を用いた A431 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



SERPINA7 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した A431 細胞のフローサイトメトリー分析。



SERPINA7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。



SERPINA7 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。